

## 星城大学

### プレキャンパスライフー目で見、耳で聞いて、心で感じようー

4月28日・30日

星城高等学校生を対象にしたプレキャンパスライフが開催されました。この企画は、大学生活を体験することにより、大学進学に向けてのモチベーションをあげることを目的としています。

冒頭、水野学長より「星城大学は学生一人ひとりの顔と名前がわかる大学です。社会人へのスタートの基礎づくりを全力でサポートすることができる大学をぜひ実感してってください」との挨拶があり、各学部の説明の後、リハビリテーション学部ではスポーツ医学や認知症についての模擬授業、経営学部では1人1台のパソコンを使った模擬授業や、グラウンドでフライングディスクのパスを体験しました。

プレキャンパスライフを体験した生徒たちからは「大学に対する関心が高まった」、「パソコンを使った授業が新鮮だった」、「先輩の生の声が聞けて良かった」などの感想が寄せられました。



【星城大学4301教室にて】

## 星城高等学校

### 教育講演会「世界一受けない授業～幸せな人生を歩む方法～」

5月15日



【志賀内泰弘氏】

父母の会・星城懇話会共催にて、志賀内泰弘氏の講演会が開催されました。志賀内氏は「ギブ・アンド・テイクではなく、『ギブ・アンド・ギブ』の精神を理想にしよう。例えば、初詣の折、神社では神様に向かってお願い事をする。宝くじが当たりますように、商売がうまくいきますように、合格しますように。これは、見返りを期待したギブ・アンド・テイクです。『親切』も見返りがほしいから、親切にするのは大間違いです。本来、神様には、生きていたことをおかげさまでと感謝する所。ところが私たちは、目が見え、耳が聞こえ、食べ物がおいしくいただける、このことを当然とってしまう。朝、目が覚め、生きていることを当たり前とっています。それでは、『感謝』できません。今ある幸せに気づく努力をしましょう。『ギブ・アンド・ギブ』とは、世の中はお互いさまなのだと思え、その気持ちを大切に生きたこと。『感謝』も『親切』も見返りを一切期待しない心持ちが大切なのだ」と講演されました。「感謝のできる逞しい人間の育成」を目指す星城高等学校にとって、格好の講演内容となりました。

女子バスケットボール部員が「社会を明るくする運動」に協力した時に書いた感想文の内容がとても良い話として、志賀内氏が担当している中日新聞「ほろほろ通信」欄に掲載していただいたご縁で今回の講演会が開催されました。

## 星城中学校

### 校外学習『伊吹山登山』

5月21日

校外学習として、伊吹山登山に挑戦しました。昨年度は雨で中止しましたので、前日の雨が心配されましたが予報通り、快晴の好天気になり最高の登山コンディションになりました。



2年生3年生総員80名と教員10名の登山隊として、午前11時から1,377mの山頂を目指し登山を開始されました。

3合目までの急坂を約2時間かけて登りました。昼食をとり、山頂に着いたのが午後3時。71名の生徒が山頂に到達することができました。



【山頂にて】

## 星の城幼稚園

### 親子遠足『鞍ヶ池公園』 4月23日

年に一度の親子遠足。入園・進級して、3週間あまり、子どもたちが少しずつ安心して、園生活が過ごせるようになってきたこの時期に、広々とした場所でクラスの友だちと一緒に、また、親子で一緒に楽しめるようなゲームや遊びを計画することで、クラスの親睦を深めていけるようにと考え実施されています。

親子でバスに乗り到着した鞍ヶ池公園で、年長はクラス対抗の借り物競争(友だち探し競争)を、年中は長いトンネルを保護者の方に向かっていただき汽車ごっこを楽しみました。年少は、大好きなお家の人と十分に触れ合いながらのゲーム。また園内には、馬、うさぎ、やぎ、羊などいろいろな動物もいて、触れ合えるコーナーもありました。プレイハウスの中、大型遊具があり、体全体を使って遊ぶことを十分に楽しむことができました。クラスの友だちや親子との楽しい経験を通して、保護者の皆様方の親睦も深まりました。



【親子で楽しい】

## 星城大学リハビリテーション学院

### オープンキャンパス『病院見学バスツアーとリハビリ体感授業』 5月22日



【熱心に取り組む参加者たち】

2010年度最初のオープンキャンパスを開催しました。午前の部はバスで病院まで移動し実際の治療現場を見学。理学療法とは何か、から施設にある機器の使用のみならず、理学療法士としての心構えなど事例を交えたわかりやすい説明に参加者は真剣に耳を傾けていました。午後の部では学校でリハビリ体感授業を実施。治療体験を通じて、身体のしくみについて学んだり、器具を使用してからだの不自由を知り、障害のある方への接し方を学びました。

参加者からは「実際に理学療法士が働く現場を間近で見学でき勉強になった」「体感授業を通して理学療法に、より興味を持った」など満足度の高い感想が聞かれました。

## 平成21年度

# 決算の概要

### 資金収支計算書

<収入の部>		
科目	決算	構成比
学生生徒納付金収入	2,571,619	31.2%
補助金収入	916,434	11.1%
前受金収入	541,188	6.6%
事業収入	105,681	1.3%
手数料収入	107,784	1.3%
寄付金収入	27,646	0.3%
その他の収入	3,094,540	37.6%
前年度繰越支払資金	868,025	10.6%
収入の部合計	8,232,917	100.0%

### <支出の部>

科目	決算	構成比
人件費支出	2,382,236	28.9%
教育研究費支出	672,306	8.2%
管理経費支出	380,873	4.6%
施設関係支出	6,636	0.1%
設備関係支出	56,439	0.7%
その他の支出	3,695,570	44.9%
次年度繰越支払資金	1,038,857	12.6%
支出の部合計	8,232,917	100.0%

### 消費収支計算書

<収入の部>		
科目	決算	構成比
学生生徒納付金	2,571,619	65.6%
補助金	916,434	23.4%
事業収入	105,681	2.7%
手数料収入	107,784	2.7%
寄付金収入	32,282	0.8%
その他の収入	188,386	4.8%
帰属収入合計	3,922,186	100.0%
基本金組入額	△ 22,275	—
消費収入の部合計	3,899,911	—

### <支出の部>

科目	決算	構成比
人件費	2,399,675	60.7%
教育研究費	1,152,916	29.1%
管理経費	401,632	10.1%
その他	1,513	0.1%
消費支出の部合計	3,955,736	100.0%
当年度消費支出超過額	55,825	—

### 貸借対照表

<資産の部>	
科目	決算
固定資産	17,506,928
流動資産	2,327,732
資産の部合計	19,834,660
<負債・基本金・消費収支差額の部>	
固定負債	1,145,519
流動負債	1,137,136
基本金の部合計	17,395,078
消費収支差額	156,927
合計	19,834,660

● 資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する収入および支出のすべて、並びにその年度における支払資金の収入および支出の状況を明らかにするためのものです。そのため消費収支計算書とは異なり、次年度の収入となる前受金収入や、施設設備に関する支出および借入金返済支出など資産・負債の振替、資金運用等についても計上されています。

● 消費収支計算書は、収支の均衡の状態とその内容を明らかにすることによって、学園の経営状態を把握するためのものです。そのため、資産・負債の振替等にもなう収支などは除かれ、また退職給与引当繰入額、減価償却額、資産処分差額、現物寄附等、資金の収支を伴わない金額が計算されたうえで年間収支をとらえています。

● 貸借対照表は、平成22年3月31日現在の財務状況を示すものです。